

# JIS

UDC 577.1

K 0601

## 工業用リパーゼの活性度測定方法

JIS K 0601 - 1995

平成 7 年 7 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 化学分析部会 バイオテクノロジー専門委員会 構成表 (昭和63年3月1日制定のとき)

	氏名	所属
(委員長)	鈴木周一	埼玉工業大学
	太田隆久	東京大学
	遠藤勲	理化学研究所
	川瀬晃	工業技術院化学技術研究所
	山内愛造	工業技術院繊維高分子材料研究所
	前田英勝	工業技術院微生物工業技術研究所
	岡林哲夫	通商産業省基礎産業局
	阿部英郎	東洋エンジニアリング株式会社
	富田房男	協和発酵工業株式会社
	三木敬三郎	東亜燃料工業株式会社
	池永裕	キリンビール株式会社
	安田武夫	ライフエンジニアリング株式会社
	西野賢貴	東レ株式会社
	坂田衛	株式会社島津製作所
	島田光太郎	合同酒精株式会社
	仲恭寛	天野製薬株式会社
	古川敬一郎	宝酒造株式会社
	倉林肇	住友ベークライト株式会社
	大熊道雄	株式会社日立製作所
	吉崎健一	財団法人バイオインダストリー協会
	桜井俊彦	工業技術院標準部
(事務局)	和田靖也	工業技術院標準部標準課
	浦野四郎	工業技術院標準部繊維化学規格課
	飯嶋啓子	工業技術院標準部繊維化学規格課
(事務局)	阪本公昭	工業技術院標準部繊維化学規格課 (平成7年7月1日改正のとき)
	小川和雄	工業技術院標準部繊維化学規格課 (平成7年7月1日改正のとき)

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和63.3.1 改正：平成7.7.1

官報公示：平成7.7.3

原案作成協力者：財団法人バイオインダストリー協会

審議部会：日本工業標準調査会 化学分析部会 (部会長 二瓶好正)

審議専門委員会：バイオテクノロジー専門委員会 (委員長 鈴木周一) (昭和63年3月1日制定のとき)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課 (〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 工業用リパーゼの活性度測定方法 K 0601-1995

## Determination of lipolytic activity of lipase for industrial use

1. 適用範囲 この規格は、工業用リパーゼ(以下、リパーゼという。)の油脂加水分解活性度の測定方法について規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

- JIS K 0050 化学分析方法通則
- JIS K 0211 分析化学用語(基礎部門)
- JIS K 8005 容量分析用標準物質
- JIS K 8034 アセトン(試薬)
- JIS K 8101 エタノール(99.5)(試薬)
- JIS K 8102 エタノール(95)(試薬)
- JIS K 8180 塩酸(試薬)
- JIS K 8576 水酸化ナトリウム(試薬)
- JIS K 8799 フェノールフタレイン(試薬)
- JIS K 8842 プロモチモールブルー(試薬)
- JIS K 8896 メチルレッド(試薬)
- JIS K 9007 リン酸二水素カリウム(試薬)
- JIS K 9020 リン酸水素二ナトリウム(試薬)

2. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

2. 共通事項 化学分析について共通する一般事項は、JIS K 0050による。

3. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、JIS K 0211によるほか、次のとおりとする。

- (1) 酵素単位(unit) 定められた条件下で、1分間に1  $\mu\text{mol}$ の脂肪酸を生成する酵素量。
- (2) 加水分解活性度(unit/g又はunit/ml) 1 g又は1 mlの試料が有する酵素単位。
- (3) 基質(substrate) 酵素の作用を受ける物質。

4. 測定方法の種類 リパーゼの加水分解活性度の測定方法は、乳化剤無添加法(A法)及び乳化剤添加法(B法)とする。

- (1) 乳化剤無添加法(A法) 定められた条件のもとで、乳化剤を加えることなくかき混ぜながら基質に試料リパーゼを作用させ、生成する遊離脂肪酸を定量することによって、試料リパーゼの加水分解活性度を測定する方法である。
- (2) 乳化剤添加法(B法) 定められた条件のもとで、乳化した基質に試料リパーゼをかき混ぜないで作用させ、生成する遊離脂肪酸を定量することによって、試料リパーゼの加水分解活性度を測定する方法である。

5. 測定用試料の調製